



おくたま

第208号

令和6年2月5日発行

町議会だより



原島 匠・書

編集・発行 奥多摩町議会 電話 0428-83-2302(直通) 奥多摩町ホームページ <https://www.town.okutama.tokyo.jp/>

町議会が新体制となりました

議員歴3期
監査委員、総務文教常任委員長等
歴任



澤本 幹男 副議長

議員歴3期
副議長、経済厚生常任委員長等
歴任



小峰 陽一 議長

就任にあたって

この度、私も小峰陽一、澤本幹男が正副議長に就任いたしました。もとより微力ではございますが、その使命を果たしてまいります。

今回の選挙から議員定数を2名削減し12名から10名となりましたが、町民の皆様に選ばれた議員が、町民の声を背景にして政策の提案、議論をして、町政を発展させていくことこそ、2元代表制の一翼を担う町議会の役割であります。町を取巻く環境は、毎年変化しており、厳しい財政状況の中で、少子高齢化社会に対応した医療・福祉・教育の充実・防災・減災対策等、重要な政策課題が山積みしております。議員は、町民皆様に選ばれたということ肝に銘じ、皆様が明るい未来を確信できる町を目指して、町政に皆様の声が届くように行政と連携し、課題解決に取り組んでまいります。今後議員一丸となり、より良い町づくりに努力してまいります。

令和5年12月から2名減の12名から10名でスタート!

席番号	議員名	会派名
10	原島 幸次	自 民 党 清 新 会
9	高橋 邦男	山 な み 会
8	宮野 亨	公 明 党
7	小峰 陽一	自 民 党 清 新 会
6	澤本 幹男	自 民 党 清 新 会
5	大澤由香里	日 本 共 産 党
4	相田恵美子	ガ ジ ュ マ ル の 会
3	森田 紀子	宇 宙 会
2	伊藤 英人	ど ん ぐ り
1	榎戸 雄一	自 民 党 清 新 会

第1回臨時町議会

令和5年11月27日、第1回臨時会が開催されました。

町長提呈議案と結果

次の議案が提出され、いずれも賛成多数により、原案のとおり承認、可決されました。

【 条 例 】

- 議案第53号 議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例
- 議案第54号 特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
- 議案第55号 奥多摩町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

【 補正予算 】

- 議案第56号 一般会計(第3号)
- 議案第57号 下水道事業特別会計(第2号)
- 議案第58号 国民健康保険病院事業会計(第2号)

賛否の分かれた議案

議席番号	議員名	議案番号
12	原島 幸次	議案第53号
11	高橋 邦男	議案第54号
10	宮野 亨	
9	石田 芳英	
8	小峰 陽一	
7	澤本 幹男	
6	大澤 由香里	
5	木村 圭	
4	小山 辰美	
3	相田 恵美子	
2	森田 紀子	
1	伊藤 英人	

【賛成・・・○反対・・・× ※議長は裁決に加わらないが賛否同数の場合は議長が決裁します。】

第2回臨時町議会

12月1日、第2回臨時会が開催され、正副議長の選挙をはじめ、各常任委員会委員の選任、一部事務組合議会議員の選挙等、次のとおり決定しました。

《◎委員長 ○副委員長》

総務文教常任委員会(5名)

- ◎原島幸次 ○相田恵美子
- 伊藤英人 小峰陽一
- 宮野 亨

経済厚生常任委員会(5名)

- ◎大澤由香里 ○森田紀子
- 榎戸雄一 澤本幹男
- 高橋邦男

議会運営委員会(5名)

- ◎宮野 亨 ○大澤由香里
- 澤本幹男 高橋邦男
- 原島幸次

西秋川衛生組合議会(3名)

- 大澤由香里 澤本幹男
- 原島幸次

秋川流域畜場組合議会(2名)

- 相田恵美子 宮野 亨

三多摩上下水及び道路建設促進協議会(4名)

- 監事 小峰陽一
- 第1委員会(上水) 森田紀子
- 第2委員会(下水) 伊藤英人
- 第3委員会(道路) 榎戸雄一

三鷹・立川間立体化複々線促進協議会(2名)

- 小峰陽一 原島幸次

多摩地域都市モノレール等建設促進協議会(2名)

- 小峰陽一 原島幸次

多摩川南岸道路建設促進協議会(7名)

- ◎原島幸次 ○宮野 亨
- 伊藤英人 森田紀子
- 相田恵美子 澤本幹男
- 小峰陽一

議会だより編集委員会(5名)

- ◎澤本幹男 榎戸雄一
- 伊藤英人 相田恵美子
- 高橋邦男

表彰審査委員会 (4名)

大澤由香里 澤本幹男
小峰陽一 原島幸次

青少年問題協議会 (3名)

伊藤英人 相田恵美子
宮野 亨

下水道事業運営委員会 (2名)

伊藤英人 森田紀子

健康づくり推進協議会 (1名)

榎戸雄一

国民健康保険運営協議会 (1名)

原島幸次

環境審議会 (3名)

榎戸雄一 森田紀子
高橋邦男

小口事業資金融資制度等審議会 (3名)

榎戸雄一 大澤由香里
高橋邦男

消防団員等公務災害給与金支給審査委員会 (3名)

澤本幹男 小峰陽一
原島幸次

西多摩地域広域行政圏協議会審議会 (3名)

澤本幹男 小峰陽一
原島幸次

三か町村議会議員広域連絡協議会 (10名)

全議員

大多摩観光連盟 (1名)

参与 小峰陽一

奥多摩町・檜原村間連絡道路建設促進協議会 (7名)

森田紀子 相田恵美子
大澤由香里 澤本幹男
小峰陽一 宮野 亨
原島幸次

第4回定例町議会

第4回定例会は、12月19日から12月22日までの、会期4日間にわたり開催されました。

町長提出議案と結果

次の議案が提出され、いずれも全議員の賛成により、原案のとおり可決、同意されました。

【補正予算】

○議案第63号
一般会計(第4号)

○議案第64号
国民健康保険特別会計(第2号)

○議案第65号
国民健康保険病院事業会計(第3号)

陳情の取扱い

審議されたのは、陳情1件で、次のように決定しました。

【継続審査としたもの】

○陳情第7号
「ガソリン価格の高騰対策として、トリガー条項の発動とガソリン税・軽油取引税への消費税課税停止・見直しを求める意見書」を政府に送付することを求める陳情書

【人 事】

○議案第62号
監査委員の選任の同意
高橋 邦男氏(新任)
(棚澤在住)

【財 産】

○議案第61号
財産(土地)の取得

【条 例】

○議案第59号
奥多摩町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

○議案第60号
奥多摩町営住宅使用条例の一部を改正する条例

一般質問

令和5年第4回定例会では、9名の議員が一般質問を行いました。ここでは、紙面の都合により、内容を要約して質問者順に掲載しています。質問・答弁の全文は、2月中旬頃より、ホームページで閲覧できます。(町ホームページ～町議会～会議記録(結果))

町ホームページは、スマートフォン・タブレット端末等でもご覧いただけます。
また、町内各図書館でも会議録をご覧いただけます。



QRコード

(1) 6番 澤本 幹男議員(5ページ)

- ①古里駅東側踏切山側の町道について
- ②境の白髭神社下の「むかし道」について

(2) 8番 宮野 亨議員(5ページ)

- ①交通弱者について

(3) 9番 高橋 邦男議員(6ページ)

- ①師岡町政の成果と課題、今後の町政運営について
- ②町制施行70周年に向けて

(4) 10番 原島 幸次議員(6ページ)

- ①当町の選挙における「投票弱者」に対する支援体制について

(5) 4番 相田恵美子議員(7ページ)

- ①高齢者等ごみ出し困難者支援事業について
- ②学校のトイレに生理用品の設置を

(6) 2番 伊藤 英人議員(7ページ)

- ①ブロック塀の撤去補助を
安全と景観に配慮したまちなみづくりを
- ②店舗の改修補助を
店舗版空き家バンクを
- ③川苔山の登山路にトイレを
クラウドファンディング等の実施を

(7) 3番 森田 紀子議員(8ページ)

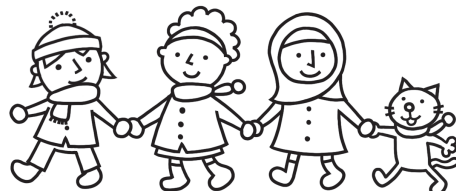
- ①福祉サービスボランティアの担い手について
- ②奥多摩町暮らしの安心サポートについて

(8) 5番 大澤由香里議員(8ページ)

- ①加齢性難聴者の支援について
- ②学校の女子トイレに生理用品を

(9) 1番 榎戸 雄一議員(9ページ)

- ①大丹波会館について





自民党清新会
さわもと けんお 議員
澤本 幹男

問 1 古里駅東側踏切山側の町道について
2 境の白髭神社下の「むかし道」について

答 1 J Rと協議や自治会の協力で解決を模索
2 今後も道路パトロールを実施していく

質問1 古里駅東側のすぐ近くにJR青梅線の踏切があるが、その踏切を渡るとT字路になっており、その町道は山側だけが非常に狭くなっている。

この山側の地区には保育園やお寺があり多くの車が通行している。また、大型車も通行するので接触等の危険があり歩行者も危険である。古里駅東側踏切山側の狭い町道の改修をどの様に考えているのか。

質問2 奥多摩むかし道は春は桜、秋には紅葉を楽しむ奥多摩を代表するハイキングコースである。しかし境地区にある白髭神社下付近の岩盤に亀裂ができていて危険を感じている。町は定期的なパトロールや点検や清掃、維持補修工事を実施すると言っているが、台風や大雨の被害で崩れてしまい観光客や地元住民に危険が降りかかるかもしれない。白髭神社下むかし道の整備をどうするのか。

町長1 この町道は「小丹波迂回線」という路線名であり、古里駅の北側エリアに居住する小丹波住民や保育園への送迎車等通過交通が大変多い路線である。踏切山側には家屋が接近し反対はJRの軌道敷であり用地の確保が必要。地域住民の安心安全、不便さの解消は大変重要である。

今後JRとの協議を含め自治会の協力を得ながら用地の確保等、包括的に解決の糸口を探っていく。

町長2 奥多摩むかし道は山側の岩盤の風化が著しく、落石や倒木などが散見される。町では常態的にパトロール点検を実施し道路の上部・下部の斜面状況や構造物の劣化・破損、排水状況の点検・確認をしてむかし道の安全確保、機能向上に努めている。また境地区にある白髭神社の先、上流の斜面の落石防護網の設置を予算化し工事を発注した。白髭神社下も継続的にパトロールを実施する。



公明党
みやの ともあき 議員
宮野 亨

問 交通弱者について

答 懸案事項・課題が多い状況である

質問 交通弱者に関する問題は喫緊の課題である。①福祉ワゴン車を未使用時に無料で貸し出せるか。②可能の場合、条件や規約等はあるか。③貸し出しに伴う運転者のための福祉車両運転講習会等はあるか。町長①この問題は、常に重要な課題と認識し、事業の見直しを図りながらこれまで実施している。「高齢者外出支援サービス事業」は、高齢者のうち通院が困難な方に必要な送迎を行い、もって在宅高齢者の外出を支援、閉じこもりの防止を目的に、町内の病院・診療所への送迎を実施し、現在は、町内の歯科への送迎も含め対応。「地域ささえあいボランティア事業」は、心身の健康と地域の活性化を図ることを目的に、町外の医療機関への送迎や買物等の支援も含め、有償のボランティア制度として実施。いずれも町から社会福祉協議会へ事業を委託しており、福祉サービス

の推進には、連携は欠かせない。「福

祉ワゴン車」は、「高齢者外出支援サービス事業」を実施するため、町が購入し、社会福祉協議会へその管理も含めた委託の10人乗りワゴン車である。

町福祉保健課と社会福祉協議会事務局で検討したが、懸案事項が多い状況。②・③については、現状では無いが、「ワゴン車」貸し出しの実現については、一つの選択肢として、「福祉ワゴン車」とは別に「ワゴン車」を確保する方法があるが、購入費や維持管理費の予算を検討したが、解決しなければならぬ課題が多い状況である。国は、一般ドライバーが自家用車で有料で送迎する「ライドシェア」の導入について検討を加速していることから、その動向も注視するとともに、町としては、実情やニーズに応じ常に事業の見直しを行う。ボランティア事業の担い手確保として、町内事業者単位で協力をいただけないか等、様々な検討を重ねているところである。



山なみ会
たかほし高橋 くにお邦男議員

問 師岡町政の成果と課題、今後の町政運営について

答 果たせなかった政策やまちづくりのため引き続き町政のかじ取りを

質問 コロナ禍で始まった師岡町政、コロナ感染対策などで大変ご苦労されたことと思う。また、現在町には、「人口減少」の波が押し寄せ、今後の町の将来に対して住民皆さんの関心も高く、不安を抱えている方も多いことなどから、師岡町長への期待も大きいものがある。そこで、次の2点について問う。①師岡町政の成果と課題は。②町長選への出馬と今後の町政運営への思いは。

町長 ①成果は、感染対策における万全のワクチン接種体制の構築や独自の地域応援券事業、事業継続応援金、介護・障害福祉サービス事業所向け支援給付など、住民及び各種事業者の生活支援・運営支援に資する事業の展開。そして、民間事業者や大学との連携で、町の有益な事業、町の活性化への取組みが始められたことなどが挙げられる。一方、課題は、冬季観光の振興や獣害対策な

ど多くの課題を抱えているが、最も大きな課題は人口減少、過疎化である。②先人が築かれたこの町を、町の財産をしっかりと継承し、改めて今ある財産を見つめ直し、発展させるべく様々な施策を展開し、これまで町づくりにご尽力されてこられた高齢者の皆様の福祉政策にも全力で取り組む必要がある。また、定住対策の推進とともに、関係人口、多様な人材が集まる町を創っていくことも重要である。新庁舎建設に当たり、多くの住民皆様、議員皆様との意見交換などの経験を活かし、開かれた町政運営を引き続き展開する。4年間で果たせなかった政策や住民皆様の安全・安心のため自らが先頭に立ち、新たな町づくりに責任を持つて、5月に執行される町長選に臨むことが、私に課せられた責任であり、引き続き町政のかじ取りを担わせていただきたい。



自民党清新会
はらしまゆきつぐ原島 幸次議員

問 当町の選挙における「投票弱者」に対する支援体制について

答 選挙管理委員会と連携をしながら推進していく

質問 全国各地の自治体では、投票にいくのが困難な方いわゆる「投票弱者」に対して支援体制を図る動きが近年高まってきている。奥多摩町では、高齢化率52.1%(令和5・11・1現在)となり、今後も高齢者の増加が見込まれる。高齢者が投票所に行こうと思っても、急峻な地形のため坂道が多く各投票所までの距離があり、車の運転ができないためやむなく「選挙を棄権」する方が各地に多いとの事である。全国各地の自治体で「投票弱者」に対するさまざまな取り組みが始まっている。町民皆様の大切な「一票」を無駄にしないため、また、投票率向上につながるためにも「移動期日前投票」等の設置を考えていることが必要と考える。「投票弱者」に対する支援体制について町の対応は。

町長 近年の選挙において、高齢化、人口減少による有権者数の減少や、期日前投票所の利用により、当日の投票所での投票者数の減少などから投票所を取り巻く環境は大きく変化している。期日前投票所は全ての選挙において、役場庁舎地下一階会議室の一角に設置している。投票者には、高齢者など「投票弱者」の方もいるが、役場本庁舎にはエレベーターが設置されていること、また、正面玄関には車椅子も配備されていることから足の不自由な方も利用されている。今後も、高齢化が進む中で、多くの住民が大切な一票を無駄にすることなく投票ができる環境を整備することで、投票率の向上が図られるよう、「投票弱者」に対する支援については選挙管理委員会と連携をしながら推進していく。



ガジュマルの会
あいだ えみこ
相田恵美子 議員

問
1 高齢者等ごみ出し困難者支援事業について
2 学校のトイレに生理用品の設置を

答
1 ステーション方式を維持しつつごみ出し困難者支援事業を拡充 2 学校と協議する

質問1 令和元年度より高齢者等ごみ出し困難者支援事業が開始され、利用されている方からは感謝されているが、今後高齢者が増加し利用者は増え続けることが予想される。
① 利用可能な対象が4項目設定されているが、その比率は。**②** 4年間の事業効果は。**③** 町全体を戸別収集してほしい、との声も聞かれる。町の所見は。
質問2 コロナ禍で生理の貧困が顕在化したことで全国の自治体でも公共施設や学校で生理用品の設置がされるようになった。生理現象に対して負担を減らし、さらに安心して過ごせる学校環境であってほしい。
① 学校での生理教育は。**②** 学校のトイレに生理用品を設置することは可能か。

こなっている。利用可能な対象「介護保険法認定世帯」は34世帯64%、「各種障害者手帳認定者世帯」は5世帯9%、「65歳以上で構成されている世帯」は13世帯25%、その他の世帯は1世帯2%。**②** 高齢者の利便性や福祉の充実が図られている効果がある。**③** 広大な面積、急峻な地形や狭い道路、集落が点在しているため、費用や収集時間の増加を招き、人員確保において大きな負担となるため、現実的には厳しい。
教育長2 **①** 小学校では、4年生が男女一緒に保健の授業で学習。高学年は移動教室前に生理教育を行ってゐる。中学校では1学期に養護教諭から女子生徒全員に説明。
② 安心して学校生活ができる環境整備の一環として、学校とも協議し教育的観点も踏まえ、設置についてより良い方向を研究する。

質問 商店・飲食店の減少は住民にも観光客にも不便であり、町の課題といえる。店舗の所有者や借り手の高齢化が進めば、店舗改修のための経済的負担の回収のめどが立ちにくくなるため、設備投資できず空き店舗となる可能性がある。
質問 高齢化した所有者も店舗改修等できない補助制度と、空きテナントを町内外に紹介する制度があれば、経営意欲の向上や物件の売買・賃貸借の活性化などが見込める。
① 店舗物件の購入・リフォーム等のための補助制度創設を。なるべく年齢制限なく、賃貸物件も対象に。
② 物件所有者の不安を軽くし流通を促すため、迅速に買い手・借り手が見つかるよう店舗物件を町内外に紹介する、空きテナントバンク創設を。

事業者の移転促進のため、町が管理する空家、空地、遊休施設を優先的に活用でき、改築等も基準を満たせば移住・定住応援補助金の対象となる。また、若者定住対策の中で、新しくお店を開業したい、空き店舗を使いたいという声があったため、「小口事業資金融資規則」を改正し、設備資金と運転資金最大500万円を、一定条件のもと開業資金への融資制度として実施している。
今後、人口減少や高齢化、後継者不足により空き店舗の増加も考えられる。第6期長期総合計画の策定に向け、現状把握、提案の補助制度の内容を含め、事業者支援策を検討していく。
② 「個人住宅兼店舗併用型」が多く、空き店舗でも賃貸が難しい状況がある。現在の空家バンクに空き店舗情報の掲載は可能と考え、**①**と併せ検討していく。



どんぐり
いとう えいじ
伊藤英人 議員

問
店舗の改修補助を
店舗版空き家バンクを

答
第6期長期総合計画の策定に向け事業者支援策を検討していく



宇宙もりた森のりこ議員

<p>問</p> <p>1 福祉サービスボランティアの担い手について</p> <p>2 奥多摩町暮らしの安心サポートについて</p>	<p>答</p> <p>1 担い手確保として検討を重ねている</p> <p>2 地域包括ケアシステムの推進を図る</p>
---	---

質問1 町では、高齢者の皆様に住み慣れた地域で自立した生活を続けていけるよう、介護保険地域支援事業（介護予防事業）としてトータル的なサービスを実施している。

① 配食ボランティアの人数と年齢、活動平均年数、年間報酬は。

② 食事療養サービスの現在の利用者人数と、どのような病状の治療食が対応可能か。以前配食をしていたことがあったようだが、今後配食の検討は。

③ コロナ後、各特別養護老人ホームの配食サービスの予定は。

質問2 在宅生活をサポートするシステムの人員として、集落支援員の導入が大きな力になると考えられる。他の議員が複数回一般質問したが、その後の進捗状況等、導入検討に向けてどのような状況にあるのか。

町長1 ①ボランティアは週3回、配食の盛りつけ時に3名、当日の配達

時に12名、翌日の配食ボックス回収時に2名、年齢はほぼ65歳以上の方。多くが10年以上配食サービスを支えている。報酬は配達ボランティア年額2万6千4百円。回収ボランティア年額3万9千6百円。委託先の社会福祉協議会から支払。

② 介護予防事業の一環として、低栄養改善だけでなく、糖尿病、高血圧症、高脂血症等の生活習慣病の改善を目的として実施。これまで奥多摩病院で食事をする形態での利用。現在、利用者がいない状況を踏まえ、配食の形態も必要であると捉え今後検討していく。

③ 現在は寿楽荘及び琴清苑で実施している。

町長2 集落支援員の具体的な取り組みは無いが、高齢者が住み慣れた地域で自分らしい生活を続けられるよう、地域包括ケアシステムのさらなる推進を図っていく。



日本共産党のおおさわゆかり議員

<p>問</p> <p>1 加齢性難聴者の支援について</p> <p>2 学校の女子トイレに生理用品を</p>	<p>答</p> <p>1 東京都の動向を注視する</p> <p>2 設置についてより良い方法を研究する</p>
--	---

質問1 補聴器購入補助を求める声が増えます。①当町における加齢性難聴者の実態把握の進捗状況は。②健康診断での聴力検査の実施の検討結果は。③改めて補聴器購入に対する助成を行なう考えは。

質問2 生理用品は女性であれば誰でも必要なもの。子どもたちが、困ったり、恥ずかしい思いをすることがないよう、小学校の高学年と中学生の女子トイレの個室にトイレットペーパーと同じように生理用品の配備を。

町長1 ①調査の回答結果から、特に85歳以上において難聴の方が多いものの、その半数近くの方が補聴器を購入されていない状況を新たに把握し、町としての対応が必要であると認識した。②国民健康保険及び後期高齢者医療における健康診査は、町内と青梅市内の医療機関とも

に統一の契約内容から、町独自に聴力検査を健康診査に追加することは難しい。③財源を確保し、その継続性も十分担保した上で、慎重に検討を進める必要がある。東京都福祉局高齢者施策推進部から同局の予算要求段階ではあるが、来年度、新たに「高齢者聞こえのコミュニケーション支援事業」を創設し、加齢性難聴の早期発見・早期対応に係る区市町村の取組みを支援する予定であるとの説明があった。今後、都において、「高齢者聞こえのコミュニケーション支援事業」が、来年度予算に計上され、聴力検査の実施や補聴器購入助成に係る経費が補助対象となる場合には、町として都補助事業を活用しての実施について、より具体的に検討していく。

教育長2 今後、小中学校と協議し、教育の観点なども踏まえ、設置についてより良い方法を研究する。



自民党清新会
えのきど ゆういち
榎戸 雄一 議員

問 大丹波会館について

答 耐震化は関係各課で検討していきたい
安全なエリアにあり移設計画はない

質問 大丹波会館は昭和40年に建設され、築58年を経過し老朽化は見られるものの3階に位置する大丹波会館は、必要な修繕や行政による補助制度により維持管理されてきた。大丹波会館は地域住民のコミュニティ活動の場としての役割と地域防災の拠点としても中心的役割を持ち、安全・安心のよりどころの施設でもある。この会館を支える鉄筋コンクリート造の2階層部分は、その構造から管理が難しく今後予想される巨大地震を想定すると、住民利用者も一抹の不安を抱える状況である。新しい補強工法なども誕生し選択肢の幅も広がっている現状も含め、これらの状況についてどの様に考えているのか問う。

町長 ①大丹波会館は町内にある生活館では、最も古い建物である。また当該施設は旧耐震の施設であり、町内の生活館のうち旧耐震の施設は大丹波会館を含め8か所ある。なお、旧耐震基準では、震度5強程度の揺れでも建物が倒壊せずと設定されている。重要路線以外の建築物については耐震診断を実施していない状況であるが、耐震化は予算規模も大きく、今後、関係課において、対応方法等について検討していきたい。②大丹波会館の立地する地域は土砂災害の警戒区域から除外されており、町内では貴重な安全なエリアとなる。現状では、移設計画はないが、1点目の質問事項も含め、地元自治会の状況を確認しながら、他自治会の生活館の状況など、全体を見渡しながら、町としての方針を検討していきたい。

令和5年12月19日、全員協議会でつぎのとおり声明文をとりまとめました。

パレスチナ自治区ガザ地区における即時停戦を求める声明文

パレスチナのイスラム組織ハマスとイスラエルの大規模衝突により、パレスチナ自治区ガザ地区において深刻な人道的危機に直面している。いかなる理由があっても、民間人への無差別攻撃と非人道行為は正当化できない。

本議会は、この人道的危機を一刻も早く止めるために、日本政府をはじめ、すべての国が即時停戦実現のため行動することを求める。

令和5年12月

東京都奥多摩町議会

令和6年元日に発生した能登半島地震の震災により、お亡くなりになられた方々に謹んで深い哀悼の意を表するとともに、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

令和6年1月

東京都奥多摩町議会

議会日誌

11月

3日 奥多摩町功労者表彰式
奥多摩中学校音楽祭

5日 奥多摩町文化団体連盟催し部会
東京都市監査委員会第1回委員
研修会(WEB)

14日 第32回西多摩地域広域行政圏
体育大会総合開会式兼前夜祭

16日 西多摩市町村議長意見交換会・
懇親会

17日 西多摩市町村議長意見交換会・
懇親会

17日 古里小学校展覧会

22日 例月出納検査

23日 神津島村制定100周年記念式典
氷川小学校創立150周年記念学習
発表会

27日 議会運営委員会
第1回臨時会・議員懇談会

29日 第67回町村議会議長全国大会

1日 第2回臨時会・全員協議会

9日 秋の交通功労者等表彰式

10日 第62回加藤旗争奪駅伝競走大会
議会運営委員会

11日 歳末たすけあい・地域福祉募金
配分会

12日 環境審議会

13日 身体障害者福祉協会忘年会
西多摩地区消防団連絡協議会
理事会・懇親会

1月

4日 仕事始め式

5日 青梅商工会議所新年賀詞交歓会

7日 奥多摩町消防団出初式

8日 二十歳を祝う会

10日 国民健康保険運営協議会
議会だより編集委員会

11日 西多摩郡町村議会議長会臨時総
会

12日 青梅警察署武道始式・警察協力
三団体主催小宴

13日 三多摩上下水及び道路建設促進
協議会(第3委員会)

16日 西秋川衛生組合新議員事業説明
会

17日 秋川流域斎場組合新議員事業説
明会

18日 奥多摩町体育協会新年会

19日 国民健康保険運営協議会

22日 消防団正副団長・分団長新年会
東京都三多摩地区消防運営協
議会第2部会

25日 青梅交通安全協会理事新年会
例月出納検査

26日 青梅防犯協会役員新年会
議員研修視察(檜原村議会 他)

19日 第4回定例会・全員協議会

20日 第4回定例会

21日 例月出納検査
国民健康保険運営協議会

22日 第4回定例会

編集後記

30日 三多摩上下水及び道路建設促進
協議会(第2委員会)

31日 西多摩地区議長会賀詞交歓会
福島県二本松市議会行政視察
(WEB)

《お詫びと訂正》
町議会だより前号(第207号)4ページの賛否が分かれた議案・陳情の表内、「議案第3号～議案第6号」は「陳情第3号～陳情第6号」の誤りです。
お詫びして、訂正します。

3月定例会等日程(予定)

議会運営委員会	2月22日(木)	
本会議	3月1日(金)	
	3月5日(火)	
	3月7日(木)	一般質問
	3月8日(金)	予算特別委員会
	3月13日(水)	予算特別委員会
	3月15日(金)	
陳情受付期間	2月15日(木)	まで

会議の予定は変更になる場合があります。詳細は、下記までお問い合わせください。
☎0428(83)2302(議会事務局直通)



令和6年元日に発生した能登半島地震によりお亡くなりになられた方々に謹んで深い哀悼の意を表するとともに被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。
十一月の町議会議員選挙から三か月が過ぎました。新人議員として初めての議会を経験し、また「議会だより」に携わることになりました。
昨年は関東大震災から百年という節目を迎えました。この百年で生活は発展したものの地震や自然災害は容赦なく私たちの日常を壊し、奪ってしまいます。自分自身と家族、大切な人、大切な場所を守るため今一度、我が身に降りかかったら・と考えていきたいと思えます。この度の能登半島地震の被災地の復旧と復興が一日も早く進むことを願っております。

榎戸 雄一(記)
伊藤 英人 相田恵美子
澤本 幹男 高橋 邦男